

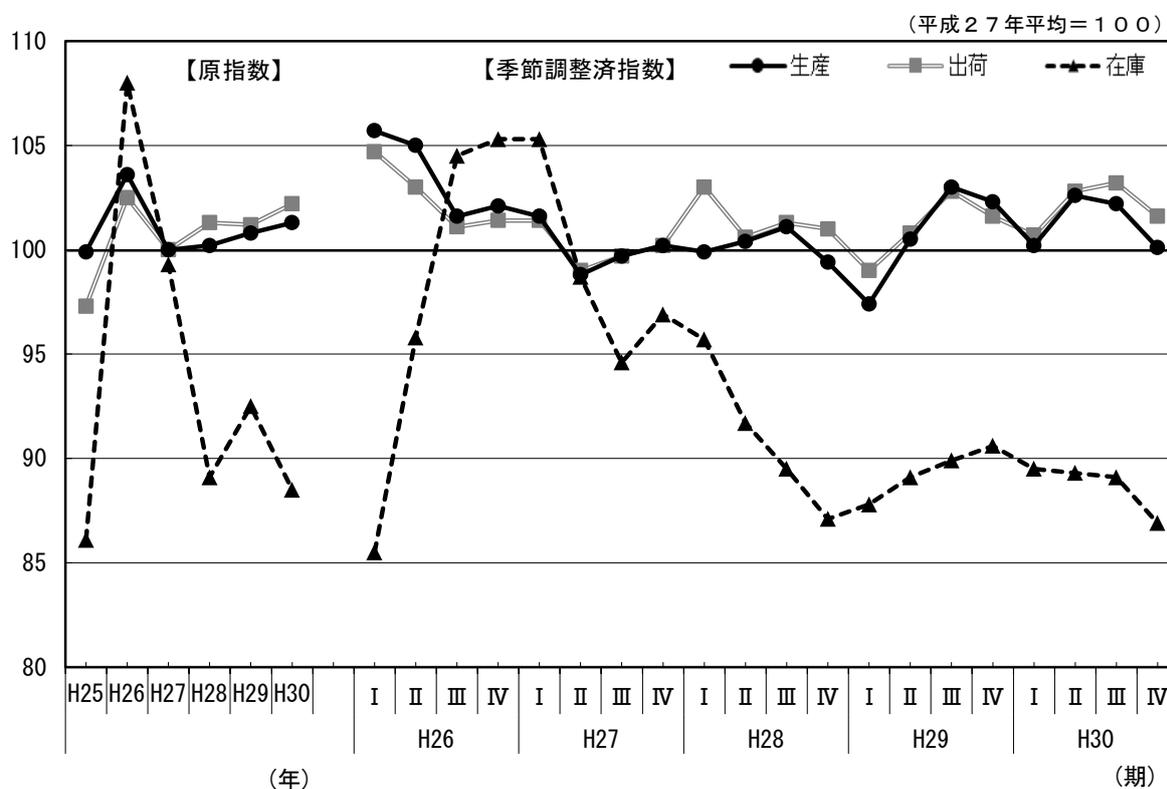
平成27年基準

# 埼玉県鉱工業指数年報

## 【平成30年】

(巻末資料 平成27年(2015年)基準改定の概要)

### － 埼玉県鉱工業総合指数の推移 －



彩の国  
埼玉県

総務部統計課

# 利用上の注意

## 1 埼玉県鉱工業指数について

埼玉県鉱工業指数は、県内の生産活動の状況を把握することを目的とし、経済産業省生産動態統計調査及び県独自調査の結果をもとに作成しており、平成31年3月に、基準を平成22年から平成27年に改定しました。

平成30年年報については、時系列データを平成25年まで遡り、平成27年基準に基づいて原指数、季節指数及び季節調整済指数の再計算を行った上で、1年間の動向を改めてまとめたものです。

## 2 基準時

本書に掲載する指数及びウェイトは、ともに平成27年を基準としています。

## 3 用語の表示

「鉱工業生産指数（付加価値額ウェイト）」、「鉱工業生産者出荷指数」、「鉱工業生産者製品在庫指数」、「鉱工業生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産指数」、「出荷指数」、「在庫指数」、「在庫率指数」と略記しています。

また、四半期別の 期は1～3月期、 期は4～6月期、 期は7～9月期、 期は10～12月期を表しています。

## 4 数値等の表示方法

- (1) 指数値は、暦年別、四半期別及び月別に算出しています。
- (2) 暦年及び四半期別の生産指数、出荷指数及び在庫率指数は、月別指数の平均値を用いて算出し、在庫指数は当該年末又は期末指数値を用いて算出しています。
- (3) 前年比及び前年同期比は、原指数によって算出し、前期比は季節調整済指数によって算出しています。
- (4) 各数値の掲載単位未満は、すべて四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- (5) 個別生産指数、個別出荷指数及び個別在庫指数は原指数を掲載しています。

## 5 符号の用法

- |         |       |                 |
|---------|-------|-----------------|
| 「 - 」   | ..... | 該当数値がない又は非公開のもの |
| 「 0.0 」 | ..... | 数値が掲載単位に満たないもの  |
| 「 」     | ..... | マイナスの数値         |

## 6 その他

- (1) 平成25年から平成29年の年報は、平成22年基準で作成しているため、本書の同年同月及び同年同期の数値とは一致しません。
- (2) 平成27年基準改定の内容については、資料(P72～)をご覧ください。

# 目 次

## 平成30年埼玉県鉱工業指数の動向

1 概 況	1
2 主要業種の動向	6
3 特殊分類別（財別）の出荷動向	12
4 全国及び関東経済産業局管内との比較	14

## 統計表

(1) 業種分類別生産指数	19
(2) 業種分類別出荷指数	27
(3) 業種分類別在庫指数	35
(4) 業種分類別在庫率指数	43
(5) 特殊分類別生産指数	51
(6) 特殊分類別出荷指数	55
(7) 特殊分類別在庫指数	59
(8) 特殊分類別在庫率指数	63

## 資料

1 埼玉県鉱工業指数の概要	69
2 平成27年（2015年）基準改定の概要	72

# 平成30年埼玉県鉱工業指数の動向

## 1 概況

### (1) 鉱工業総合指数の動向

#### <生産>

生産指数は101.3で、対前年比は0.5%、3年連続の上昇となりました。  
四半期別の動きは、Ⅰ期で低下、Ⅱ期で上昇、Ⅲ期及びⅣ期で低下となっています。

#### <出荷>

出荷指数は102.2で、対前年比は1.0%、2年ぶりの上昇となりました。  
四半期別の動きは、Ⅰ期で低下、Ⅱ期及びⅢ期で上昇、Ⅳ期で低下となっています。

#### <在庫>

在庫指数は88.5で、対前年比は▲4.3%、2年ぶりの低下となりました。  
四半期別の動きは、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期及びⅣ期の全期で低下となっています。

表1-1 鉱工業総合指数の推移

(平成27年平均=100)

		29年	30年	30年			
				I	II	III	IV
生産	指数	100.8	101.3	100.2	102.6	102.2	100.1
	増減率(%)	0.6	0.5	▲2.1	2.4	▲0.4	▲2.1
出荷	指数	101.2	102.2	100.7	102.8	103.2	101.6
	増減率(%)	▲0.1	1.0	▲0.9	2.1	0.4	▲1.6
在庫	指数	92.5	88.5	89.5	89.3	89.1	86.9
	増減率(%)	3.8	▲4.3	▲1.2	▲0.2	▲0.2	▲2.5
在庫率	指数	89.9	91.9	93.8	91.8	93.3	89.2
	増減率(%)	▲8.8	2.2	1.1	▲2.1	1.6	▲4.4

※ 年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図1-1 鉱工業総合指数の推移 (平成27年平均=100)

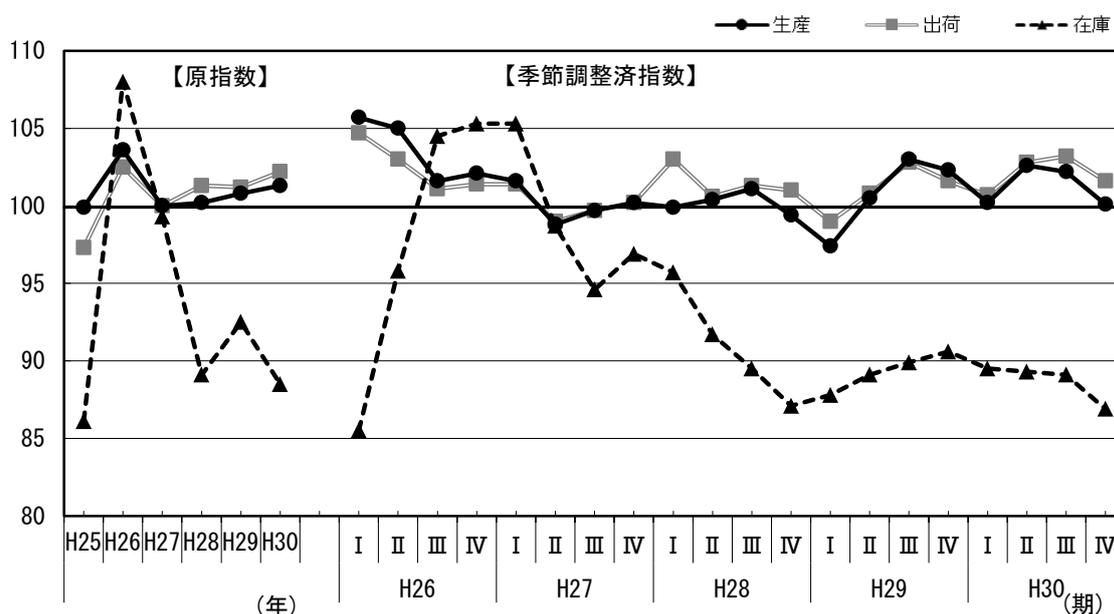
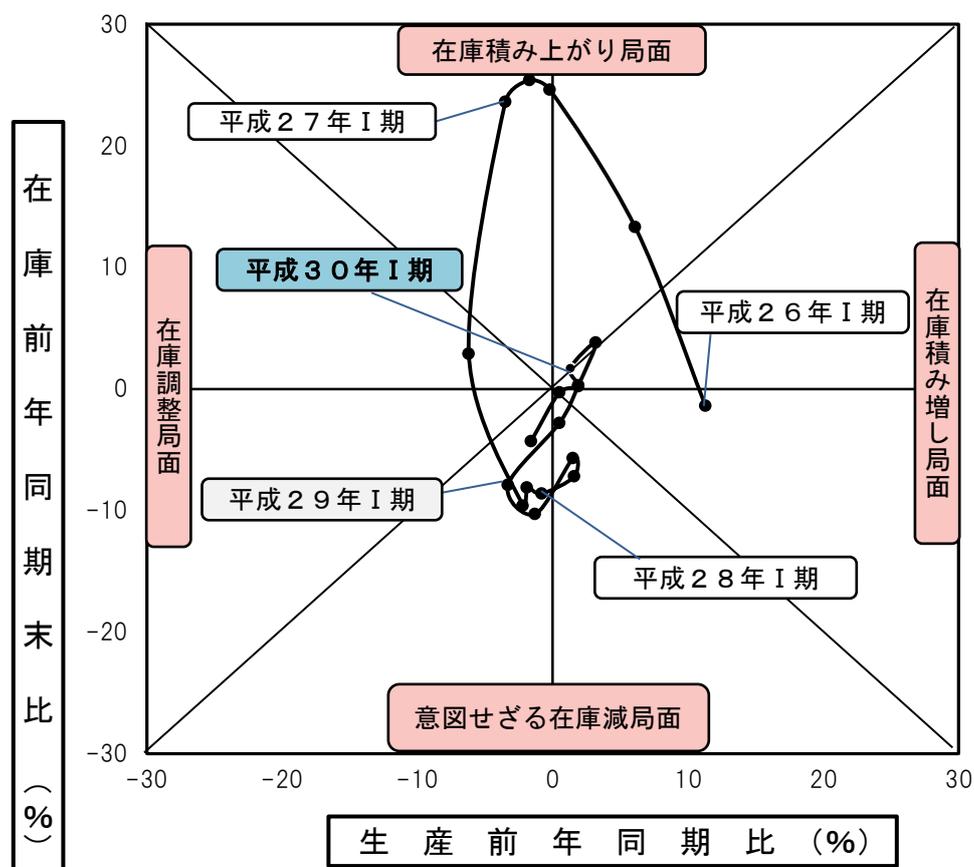


図 1-2 在庫循環図



< 在庫循環図について >

- 意図せざる在庫減局面 …… 景気拡大初期。需要が予測を上回り、増産が追い付かず、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面 …… 景気拡大期。需要の増加に対応するため、増産を進めて在庫を積み増そうとする。
- 在庫積み上がり局面 …… 景気後退初期。需要が予測を下回り、減産が追い付かず、在庫が積み上がっていく。
- 在庫調整局面 …… 景気後退期。需要の減少に対応するため、減産を進めて積み上がった在庫を減らそうとする。

## (2) 業種分類別指数の動向

### <生産>

生産用機械工業、情報通信機械工業など14業種が上昇し、業務用機械工業、電気機械工業など8業種が低下しました。

### <出荷>

生産用機械工業、食料品工業など13業種が上昇し、業務用機械工業、電気機械工業など9業種が低下しました。

### <在庫>

電子部品・デバイス工業、非鉄金属工業など12業種が上昇し、輸送機械工業、電気機械工業など8業種が低下しました。

表1-2 上昇・低下に寄与した主な業種

### (1) 生産

		業 種	対前年増減率	品 目
上 昇	14業種	生産用機械工業	15.9%	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、研削盤
		情報通信機械工業	14.8%	カーオーディオ、ガス警報器、カーナビゲーション
		化学工業	3.6%	化粧品、ウレタンフォーム、シンナー
低 下	8業種	業務用機械工業	▲ 31.2%	医療用機械器具、パチンコ、分析機器
		電気機械工業	▲ 9.9%	電気計器、電力変換装置、その他の電子応用装置
		その他製品工業	▲ 7.7%	シャープペンシル、ユニット住宅

※横ばい1業種（鉱業）

### (2) 出荷

		業 種	対前年増減率	品 目
上 昇	13業種	生産用機械工業	24.2%	半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、研削盤
		食料品工業	4.1%	炭酸飲料、めん類、ハム
		輸送機械工業	2.8%	自動車エンジン、乗用車
低 下	9業種	業務用機械工業	▲ 30.8%	医療用機械器具、パチンコ、分析機器
		電気機械工業	▲ 9.0%	電気計器、電力変換装置、その他の電子応用装置
		その他製品工業	▲ 7.6%	ユニット住宅、シャープペンシル

※横ばい1業種（鉱業）

### (3) 在庫

		業 種	対前年増減率	品 目
上 昇	12業種	電子部品・デバイス工業	21.5%	サーミスタ、線形半導体集積回路、トランジスタ
		非鉄金属工業	29.0%	アルミニウム圧延製品、銅電線、伸銅製品
		プラスチック製品工業	7.6%	プラスチック製容器、その他のプラスチック製品、合成皮革
低 下	8業種	輸送機械工業	▲ 66.9%	乗用車、けん引車
		電気機械工業	▲ 12.1%	電気掃除機、鉛蓄電池、電気測定器（半導体・IC測定器を除く）
		窯業・土石製品工業	▲ 15.3%	遠心力鉄筋コンクリートパイプ、コンクリート系パネル、ガラス製容器類

表 1-3 業種分類別生産指数の対前年増減率の推移

(%)

業種	ウェイト	H26	H27	H28	H29	H30
鉱工業総合	10000.0	3.7	▲ 3.5	0.2	0.6	0.5
鉄鋼業	198.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 5.3	2.1	1.0
非鉄金属	288.0	2.8	▲ 5.1	1.8	3.9	0.2
金属製品	380.4	▲ 0.4	▲ 7.9	▲ 4.7	4.4	0.1
汎用機械	493.9	11.0	8.1	▲ 4.7	21.2	▲ 1.2
生産用機械	533.1	▲ 7.8	13.5	22.9	1.6	15.9
業務用機械	429.8	14.2	▲ 10.1	4.4	11.3	▲ 31.2
電子・デバイス	280.5	14.0	4.2	7.3	11.7	3.8
電気機械	472.7	6.5	5.2	9.7	3.6	▲ 9.9
情報通信	454.7	▲ 11.6	▲ 29.8	▲ 9.9	▲ 12.8	14.8
輸送機械	1055.9	30.3	▲ 9.8	4.3	▲ 2.1	1.9
窯業・土石	244.5	▲ 1.0	▲ 9.3	▲ 1.3	2.2	0.6
化学	1489.4	4.1	▲ 4.4	▲ 6.3	▲ 12.0	3.6
プラスチック製品	577.9	0.9	▲ 2.1	1.4	0.8	1.7
パルプ・紙	376.2	0.4	▲ 1.6	5.0	2.4	2.3
繊維	105.7	▲ 31.0	▲ 1.7	▲ 7.7	▲ 1.8	2.6
食料品	1442.0	4.6	▲ 0.3	▲ 1.0	1.7	3.1
ゴム製品	116.3	3.3	▲ 3.4	▲ 7.0	1.7	▲ 8.2
皮革製品	17.7	▲ 0.8	▲ 8.6	▲ 10.3	▲ 0.9	▲ 10.0
家具	73.9	▲ 26.7	23.6	4.5	12.2	▲ 2.8
印刷	770.6	1.8	2.7	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 1.9
木材・木製品	32.3	21.2	25.6	▲ 2.3	34.3	13.3
その他製品	158.3	▲ 2.9	▲ 0.9	4.8	5.9	▲ 7.7
鉱業	7.4	▲ 3.5	▲ 8.3	▲ 0.8	8.3	0.5

図 1-3 業種分類別生産指数の対前年増減率の推移

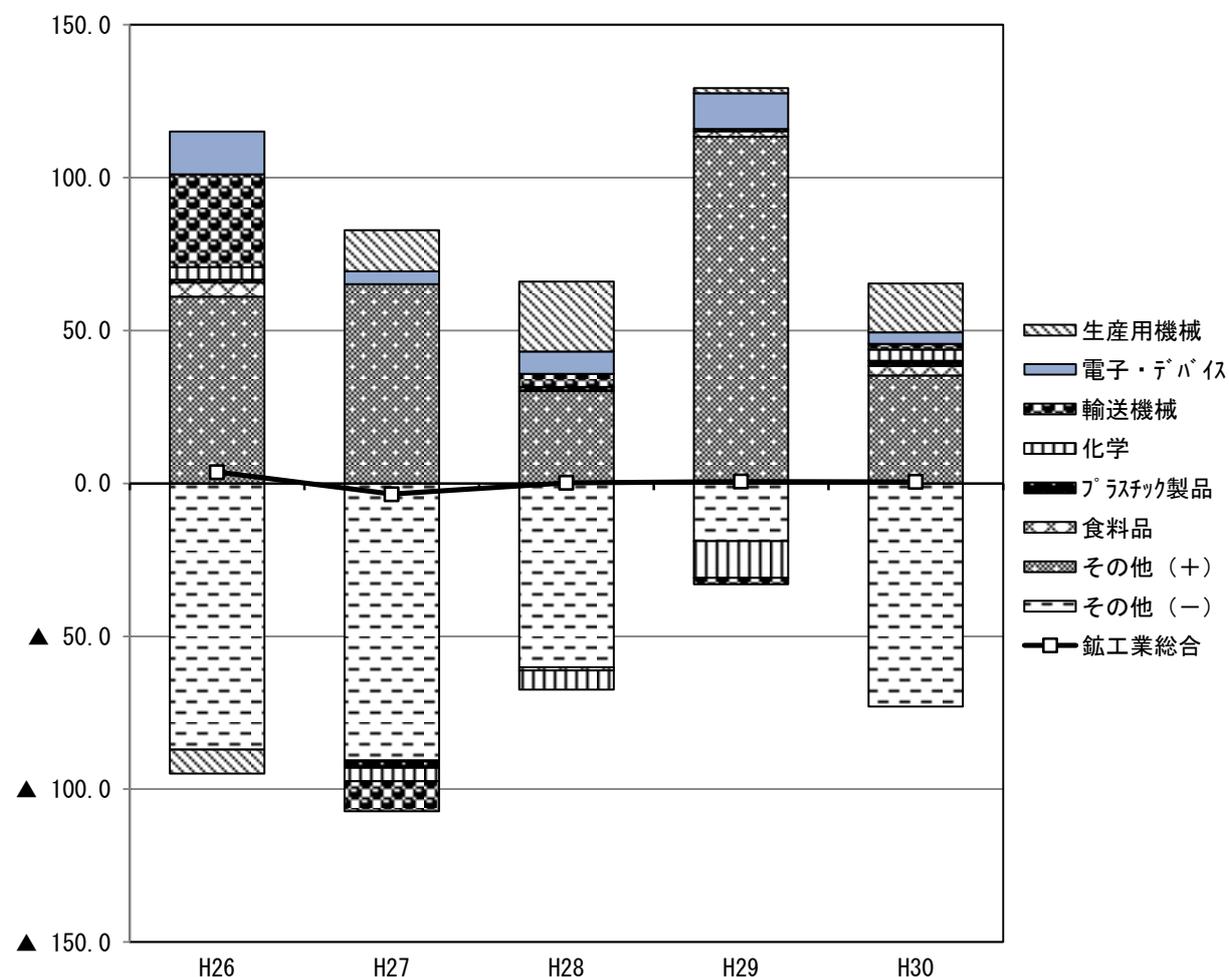
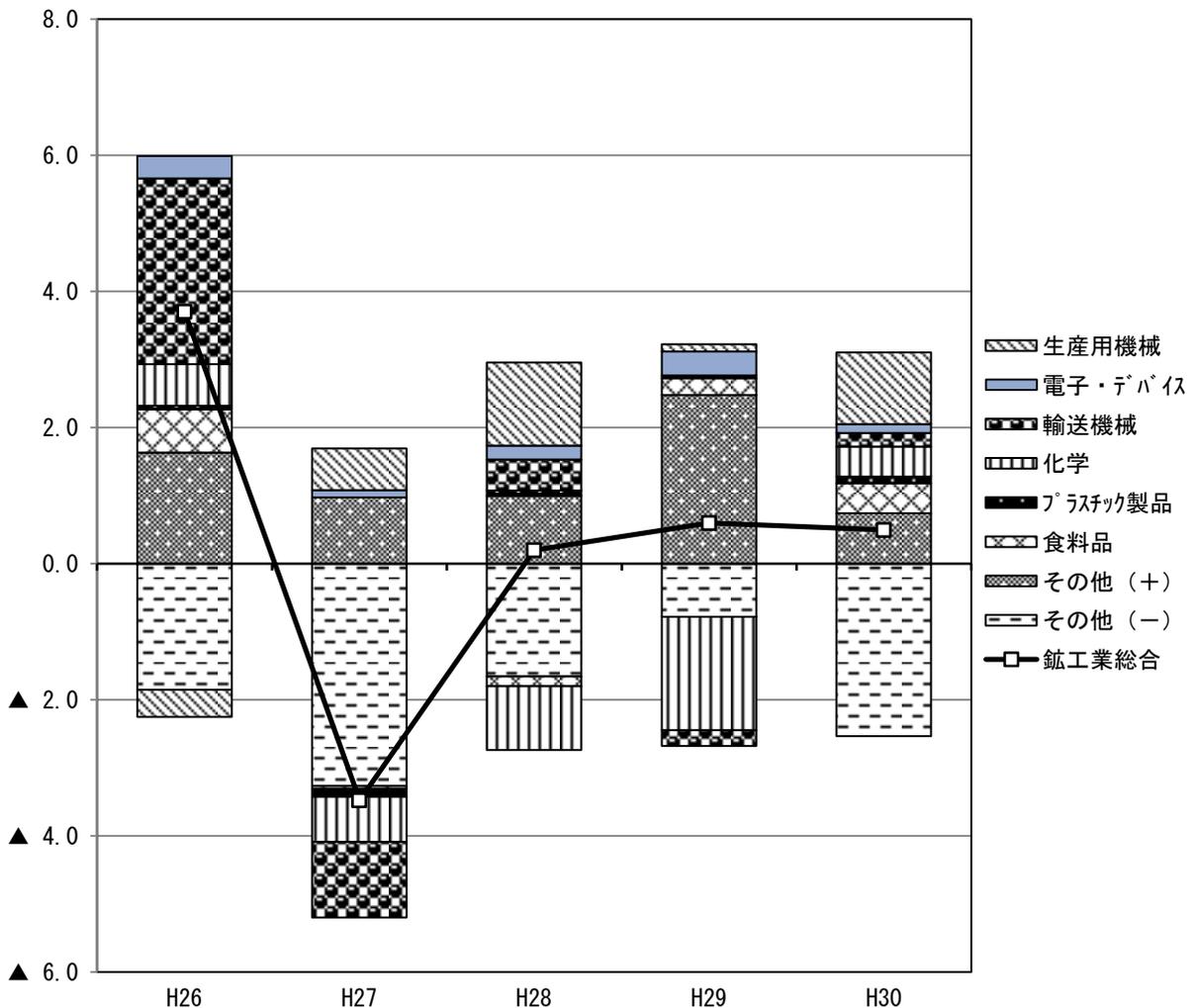


表 1-4 業種分類別生産指数の対前年増減率への寄与度の推移

(%)

業種	ウェイト	H26	H27	H28	H29	H30
鉱工業総合	10,000.0	3.704	▲ 3.475	0.200	0.599	0.496
鉄鋼業	198.8	▲ 0.207	▲ 0.079	▲ 0.105	0.040	0.020
非鉄金属	288.0	0.084	▲ 0.150	0.052	0.115	0.006
金属製品	380.4	▲ 0.015	▲ 0.316	▲ 0.179	0.159	0.004
汎用機械	493.9	0.455	0.358	▲ 0.232	0.996	▲ 0.069
生産用機械	533.1	▲ 0.400	0.612	1.221	0.106	1.052
業務用機械	429.8	0.594	▲ 0.465	0.189	0.506	▲ 1.544
電子・デバイス	280.5	0.331	0.108	0.205	0.353	0.128
電気機械	472.7	0.274	0.224	0.459	0.189	▲ 0.525
情報通信	454.7	▲ 0.847	▲ 1.861	▲ 0.450	▲ 0.522	0.523
輸送機械	1,055.9	2.727	▲ 1.111	0.454	▲ 0.232	0.199
窯業・土石	244.5	▲ 0.027	▲ 0.243	▲ 0.032	0.054	0.015
化学	1,489.4	0.611	▲ 0.661	▲ 0.938	▲ 1.665	0.443
プラスチック製品	577.9	0.052	▲ 0.117	0.081	0.046	0.097
パルプ・紙	376.2	0.015	▲ 0.058	0.188	0.094	0.093
繊維	105.7	▲ 0.484	▲ 0.017	▲ 0.081	▲ 0.018	0.025
食料品	1,442.0	0.635	▲ 0.042	▲ 0.144	0.245	0.443
ゴム製品	116.3	0.038	▲ 0.039	▲ 0.081	0.019	▲ 0.090
皮革製品	17.7	▲ 0.002	▲ 0.016	▲ 0.018	▲ 0.001	▲ 0.016
家具	73.9	▲ 0.217	0.136	0.033	0.094	▲ 0.024
印刷	770.6	0.131	0.193	▲ 0.470	▲ 0.238	▲ 0.130
木材・木製品	32.3	0.045	0.064	▲ 0.007	0.108	0.056
その他製品	158.3	▲ 0.048	▲ 0.014	0.076	0.098	▲ 0.133
鉱業	7.4	▲ 0.003	▲ 0.007	▲ 0.001	0.006	0.000

図 1-4 業種分類別生産指数の対前年増減率への寄与度の推移



## 2 主要業種の動向

### (1) 生産用機械工業

生産指数は144.8で、対前年比は15.9%、4年連続の上昇となりました。品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇し、逆に金型などが低下しています。

出荷指数は122.6で、対前年比は24.2%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、半導体製造装置などが上昇し、逆に金型などが低下しています。

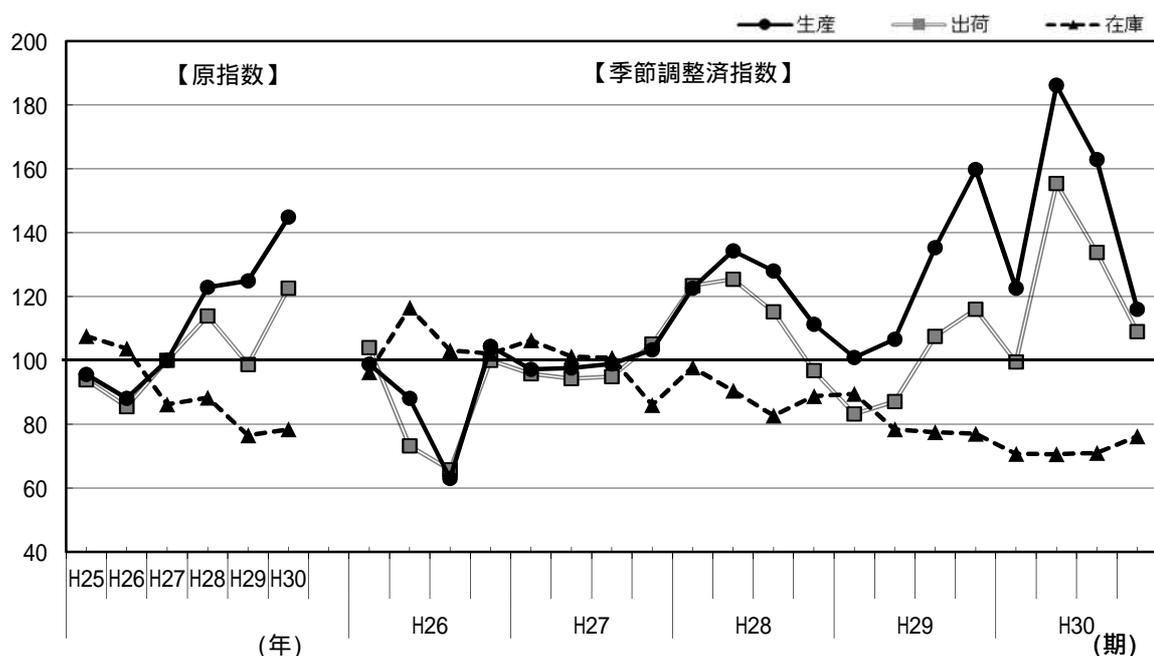
在庫指数は78.4で、対前年比は2.5%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、整地機械などが上昇し、逆に農業用乾燥機などが低下しています。

表2-1 生産用機械工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	124.9	144.8	122.6	186.1	162.8	116.0	+	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、研削盤
	増減率(%)	1.6	15.9	23.2	51.8	12.5	▲28.7	-	金型、農業用乾燥機、マシニングセンタ
出荷	指数	98.7	122.6	99.5	155.3	133.8	109.0	+	半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、研削盤
	増減率(%)	▲13.3	24.2	▲14.2	56.1	▲13.8	▲18.5	-	金型、マシニングセンタ
在庫	指数	76.5	78.4	70.7	70.6	71.0	76.2	+	整地機械、研削盤、刈払機
	増減率(%)	▲13.4	2.5	▲8.2	▲0.1	0.6	7.3	-	農業用乾燥機、マシニングセンタ
在庫率	指数	158.3	104.2	130.5	81.2	95.2	121.7		
	増減率(%)	76.5	▲34.2	▲5.7	▲37.8	17.2	27.8		

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-1 生産用機械工業の推移 (平成27年平均=100)



## (2) 電子部品・デバイス工業

生産指数は124.5で、対前年比は3.8%、5年連続の上昇となりました。品目別にみると、スイッチング電源などが上昇し、逆に水晶振動子・フィルタ・複合部品が低下しています。

出荷指数は123.1で、対前年比は2.4%、5年連続の上昇となりました。品目別にみると、スイッチング電源などが上昇し、逆に水晶振動子・フィルタ・複合部品が低下しています。

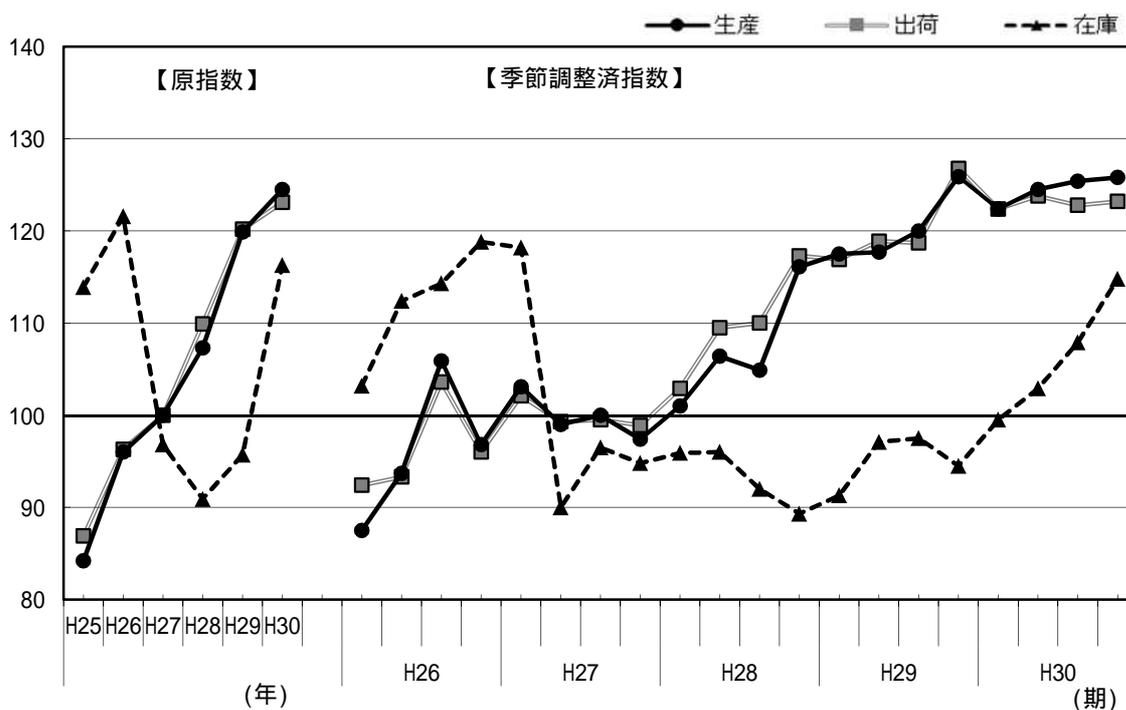
在庫指数は116.3で、対前年比は21.5%、2年連続の上昇となりました。品目別にみると、サーミスタなどが上昇しています。

表2-2 電子部品・デバイス工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	119.9	124.5	122.4	124.5	125.4	125.8	+	スイッチング電源、混成集積回路、プリント配線実装基板
	増減率(%)	11.7	3.8	▲2.8	1.7	0.7	0.3	-	水晶振動子・フィルタ・複合部品、電子回路基板
出荷	指数	120.2	123.1	122.4	123.8	122.8	123.2	+	スイッチング電源、サーミスタ、プリント配線実装基板
	増減率(%)	9.4	2.4	▲3.5	1.1	▲0.8	0.3	-	水晶振動子・フィルタ・複合部品、その他の半導体素子、電子回路基板
在庫	指数	95.7	116.3	99.5	102.9	107.9	114.8	+	サーミスタ、線形半導体集積回路、トランジスタ
	増減率(%)	5.3	21.5	5.3	3.4	4.9	6.4	-	
在庫率	指数	90.2	101.0	88.1	91.9	106.4	119.9	+	
	増減率(%)	▲1.4	12.0	6.9	4.3	15.8	12.7	-	

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-2 電子部品・デバイス工業の推移 (平成27年平均=100)



### (3) 輸送機械工業

生産指数は104.0で、対前年比は1.9%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、自動車エンジンなどが上昇し、逆に駆動伝導及び操縦装置部品などが低下しています。

出荷指数は103.7で、対前年比は2.8%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、自動車エンジンなどが上昇し、逆に普通トラックなどが低下しています。

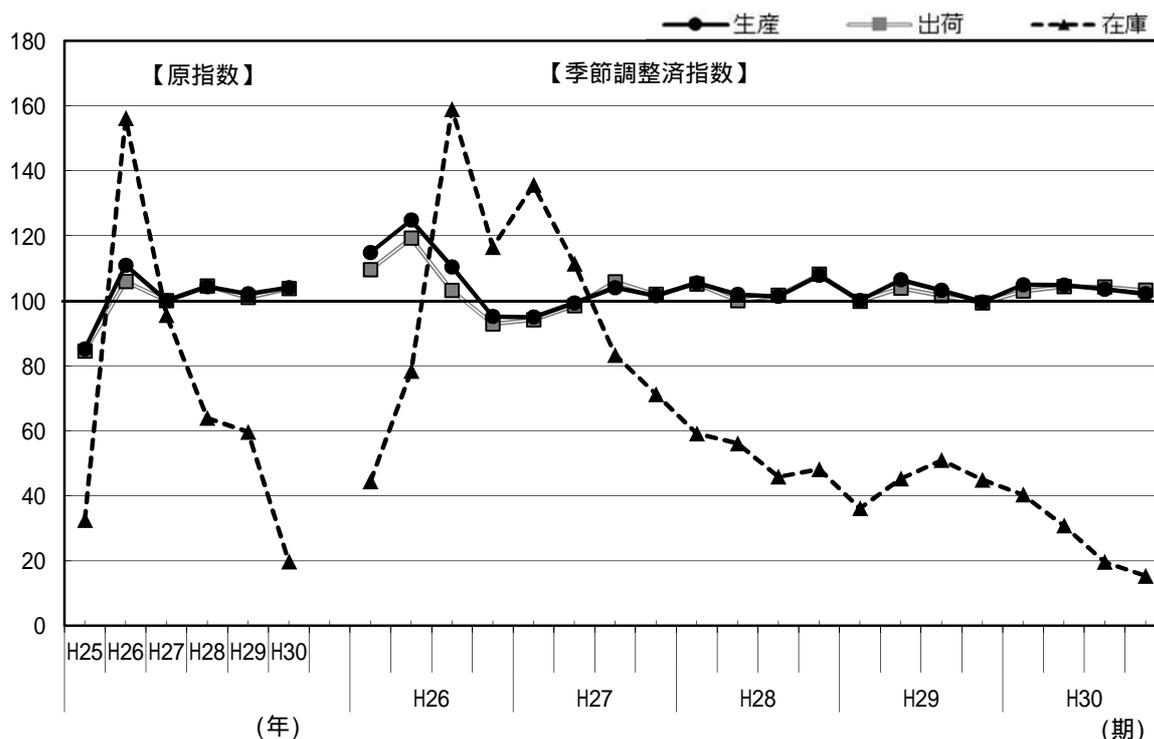
在庫指数は19.7で、対前年比は66.9%、4年連続の低下となりました。品目別にみると、乗用車などが低下し、逆に完成自転車が増えています。

表2-3 輸送機械工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	102.1	104.0	104.9	104.8	103.5	102.1	+	自動車エンジン、乗用車
	増減率(%)	▲2.1	1.9	5.3	▲0.1	▲1.2	▲1.4	-	駆動伝導及び操縦装置部品、普通トラック、輸送機械用エアコン
出荷	指数	100.9	103.7	102.9	104.3	104.2	103.2	+	自動車エンジン、乗用車
	増減率(%)	▲3.4	2.8	3.6	1.4	▲0.1	▲1.0	-	普通トラック、駆動伝導及び操縦装置部品、輸送機械用エアコン
在庫	指数	59.6	19.7	40.3	30.8	19.6	15.3	-	普通トラック、駆動伝導及び操縦装置部品、輸送機械用エアコン
	増減率(%)	▲6.7	▲66.9	▲10.2	▲23.6	▲36.4	▲21.9	+	完成自転車、輸送機械用エアコン
在庫率	指数	43.2	31.8	43.1	38.5	27.9	21.0	-	乗用車、けん引車
	増減率(%)	▲13.9	▲26.4	▲0.7	▲10.7	▲27.5	▲24.7		

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-3 輸送機械工業の推移 (平成27年平均=100)



#### (4) 化学工業

生産指数は85.5で、対前年比は3.6%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、化粧品などが上昇し、逆に医薬品などが低下しています。

出荷指数は93.9で、対前年比は2.2%、2年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、化粧品などが上昇し、逆に医薬品などが低下しています。

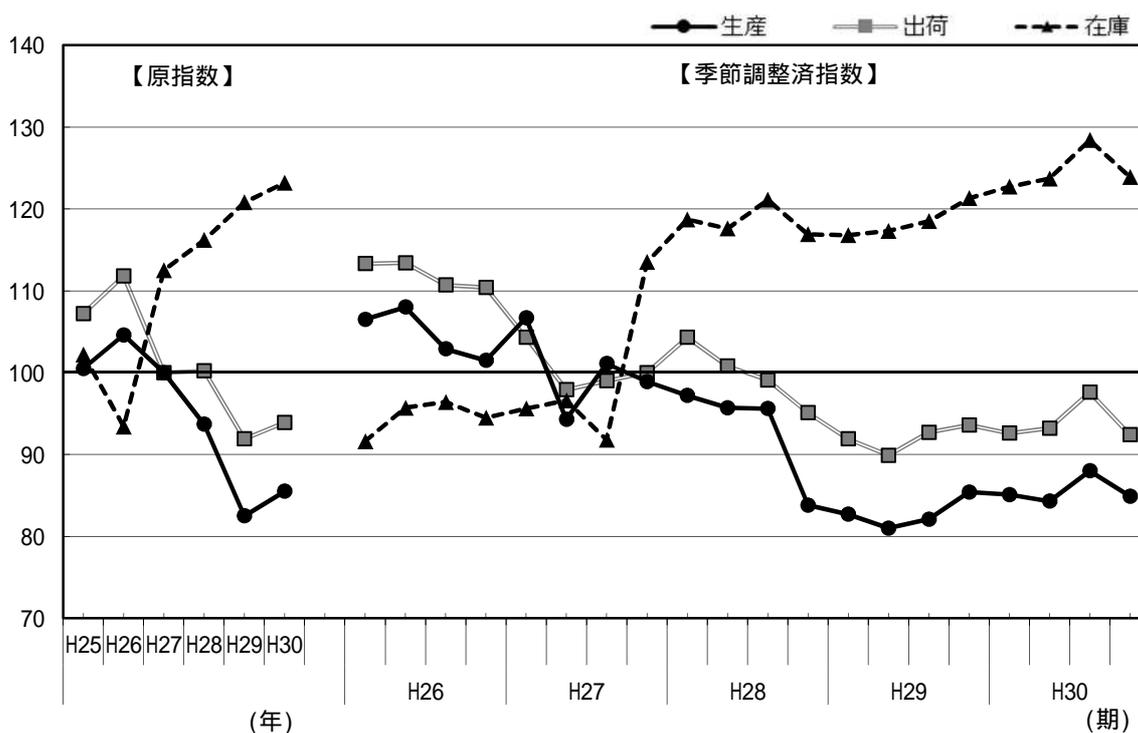
在庫指数は123.2で、対前年比は2.0%、4年連続の上昇となりました。品目別にみると、印刷インキが上昇し、逆に合成樹脂塗料などが低下しています。

表2-4 化学工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	82.5	85.5	85.1	84.3	88.0	84.9	+	化粧品、ウレタンフォーム、シンナー
	増減率(%)	▲12.0	3.6	▲0.4	▲0.9	4.4	▲3.5	-	医薬品、印刷インキ用ワニス、印刷インキ
出荷	指数	91.9	93.9	92.6	93.2	97.6	92.4	+	化粧品、ウレタンフォーム、シンナー
	増減率(%)	▲8.3	2.2	▲1.1	0.6	4.7	▲5.3	-	医薬品、印刷インキ
在庫	指数	120.8	123.2	122.7	123.7	128.4	123.9	+	印刷インキ、シンナー
	増減率(%)	4.0	2.0	1.2	0.8	3.8	▲3.5	-	合成樹脂塗料、ウレタンフォーム
在庫率	指数	105.4	113.5	112.6	110.7	120.0	111.3	+	印刷インキ、シンナー
	増減率(%)	▲1.5	7.7	4.4	▲1.7	8.4	▲7.3	-	合成樹脂塗料、ウレタンフォーム

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-4 化学工業の推移 (平成27年平均=100)



## (5) プラスチック製品工業

生産指数は103.9で、対前年比は1.7%、3年連続の上昇となりました。品目別にみると、プラスチック製容器などが上昇し、逆にプラスチック製機械器具部品などが低下しています。

出荷指数は104.6で、対前年比は3.6%、2年連続の上昇となりました。品目別にみると、プラスチック製容器などが上昇し、逆にプラスチック製機械器具部品などが低下しています。

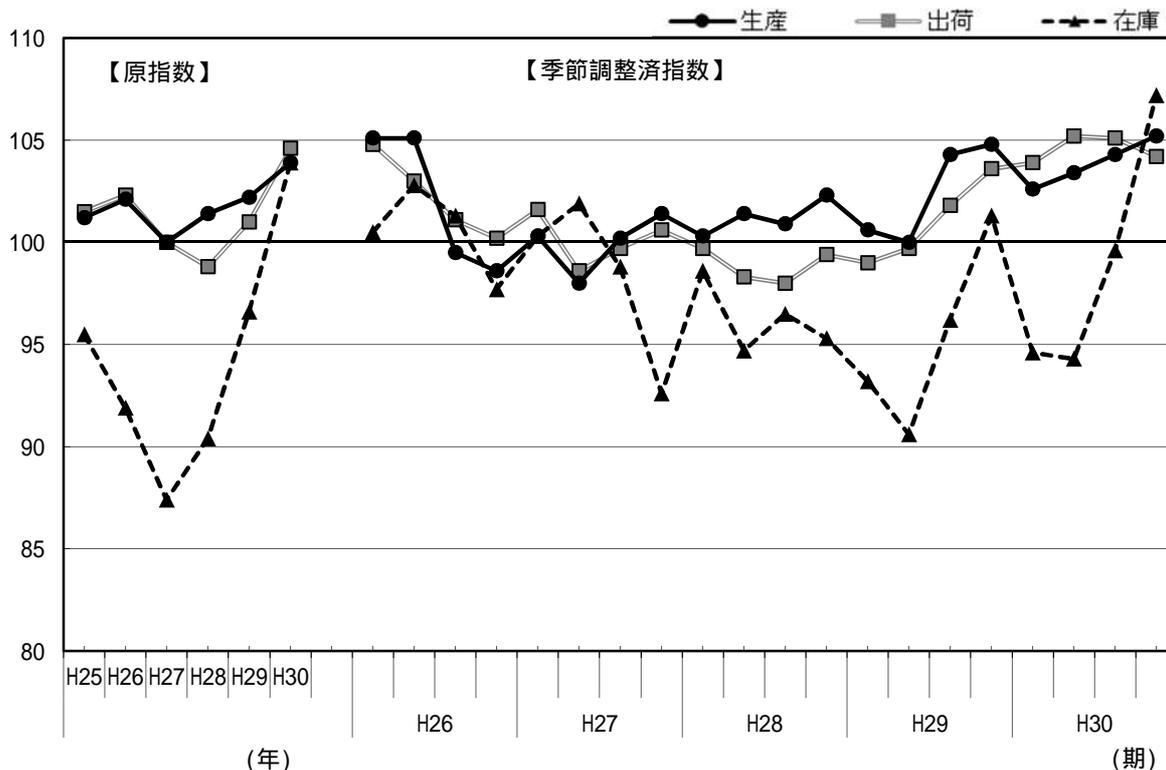
在庫指数は103.9で、対前年比は7.6%、3年連続の上昇となりました。品目別にみると、プラスチック製容器などが上昇し、逆にプラスチック板などが低下しています。

表2-5 プラスチック製品工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	102.2	103.9	102.6	103.4	104.3	105.2	+	プラスチック製容器、発泡プラスチック製品、その他のプラスチック製品
	増減率(%)	0.8	1.7	▲2.1	0.8	0.9	0.9	-	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製日用品・雑貨
出荷	指数	101.0	104.6	103.9	105.2	105.1	104.2	+	プラスチック製容器、プラスチック板、その他のプラスチック製品
	増減率(%)	2.2	3.6	0.3	1.3	▲0.1	▲0.9	-	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製日用品・雑貨
在庫	指数	96.6	103.9	94.6	94.3	99.6	107.2	+	プラスチック製容器、その他のプラスチック製品、合成皮革
	増減率(%)	6.9	7.6	▲6.6	▲0.3	5.6	7.6	-	プラスチック板、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品
在庫率	指数	94.3	92.1	91.1	88.6	92.8	95.6		
	増減率(%)	▲4.9	▲2.3	▲6.7	▲2.7	4.7	3.0		

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-5 プラスチック製品工業の推移 (平成27年平均=100)



## (6) 食料品工業

生産指数は103.8で、対前年比は3.1%、2年連続の上昇となりました。品目別にみると、炭酸飲料などが上昇し、逆にチョコレートが低下しています。

出荷指数は108.6で、対前年比は4.1%、5年連続の上昇となりました。品目別にみると、炭酸飲料などが上昇し、逆にチョコレートなどが低下しています。

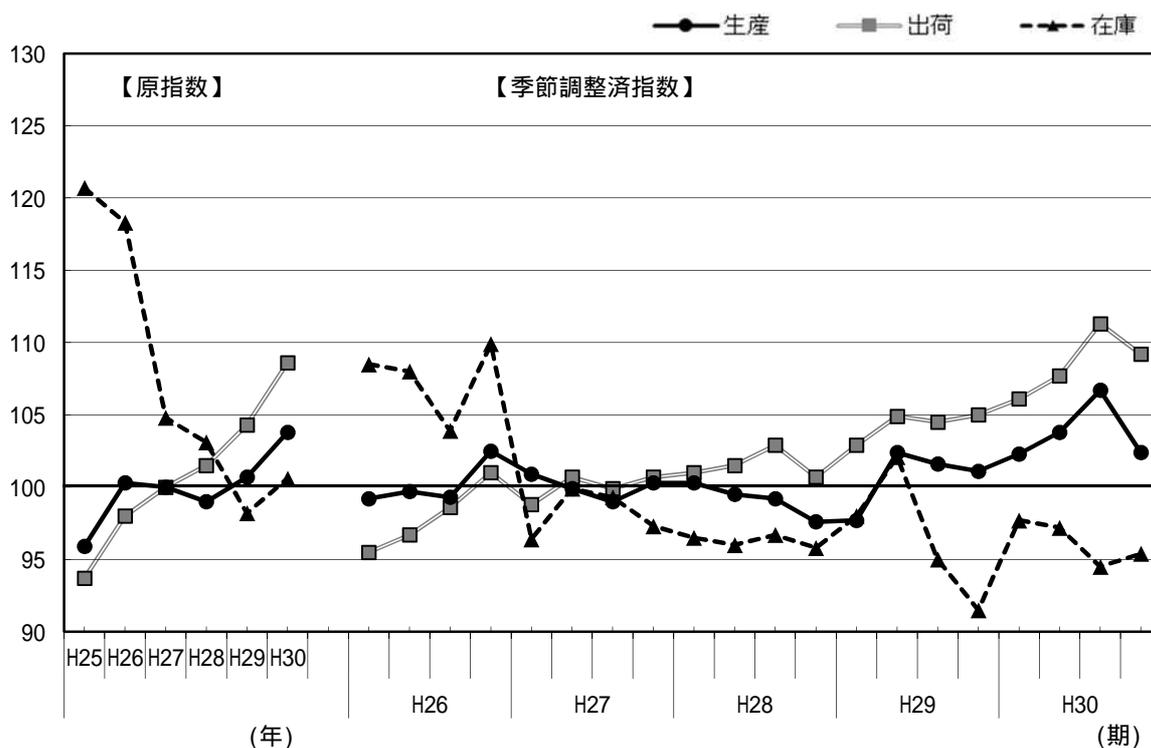
在庫指数は100.6で、対前年比は2.4%、5年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、精米が上昇しています。

表2-6 食料品工業の推移と上昇・低下した主な品目

		29年	30年	30年				上昇・低下した主な品目	
				I					
生産	指数	100.7	103.8	102.3	103.8	106.7	102.4	+	炭酸飲料、めん類、ビスケット類
	増減率(%)	1.7	3.1	1.2	1.5	2.8	▲4.0	-	チョコレート、ベーコン、菓子パン
出荷	指数	104.3	108.6	106.1	107.7	111.3	109.2	+	炭酸飲料、めん類、ハム
	増減率(%)	2.8	4.1	1.0	1.5	3.3	▲1.9	-	チョコレート、ベーコン、菓子パン
在庫	指数	98.2	100.6	97.7	97.2	94.5	95.4	+	精米
	増減率(%)	▲4.8	2.4	6.8	▲0.5	▲2.8	1.0	-	
在庫率	指数	104.7	110.3	111.4	108.8	110.6	110.1	+	
	増減率(%)	6.3	5.3	6.4	▲2.3	1.7	▲0.5	-	

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図2-6 食料品工業の推移 (平成27年平均=100)



### 3 特殊分類別（財別）の出荷動向

#### (1) 概況

最終需要財出荷指数は99.7で、対前年比は1.1%、2年ぶりの上昇となりました。  
また、生産財出荷指数は105.1で、対前年比は0.8%、3年連続の上昇となりました。

表3-1 財別出荷指数の推移

		29年	30年	30年			
				I			
最終需要財	指数	98.6	99.7	96.5	99.9	102.2	99.9
	増減率(%)	▲3.0	1.1	▲2.4	3.5	2.3	▲2.3
投資財	指数	101.9	99.1	94.2	101.4	101.3	98.7
	増減率(%)	▲1.9	▲2.7	▲7.3	7.6	▲0.1	▲2.6
消費財	指数	96.2	100.2	98.4	99.1	103.2	100.1
	増減率(%)	▲3.9	4.2	1.7	0.7	4.1	▲3.0
生産財	指数	104.3	105.1	105.4	106.1	104.6	103.9
	増減率(%)	3.3	0.8	0.2	0.7	▲1.4	▲0.7

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。 四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

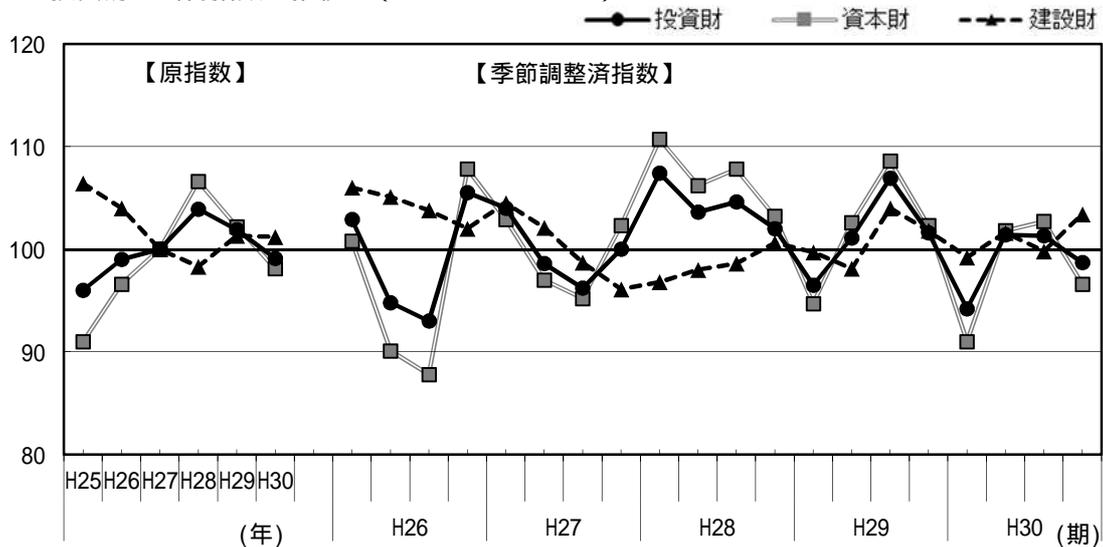
#### (2) 最終需要財

##### ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数は98.1で、対前年比は4.0%、2年連続の低下となりました。品目別にみると、医療用機械器具や電気計器などが低下しています。

建設財出荷指数は101.2で、対前年比は0.1%、2年ぶりの低下となりました。品目別にみると、ユニット住宅や管継手などが低下しています。

図3-1 投資財の出荷指数の推移（平成27年平均=100）

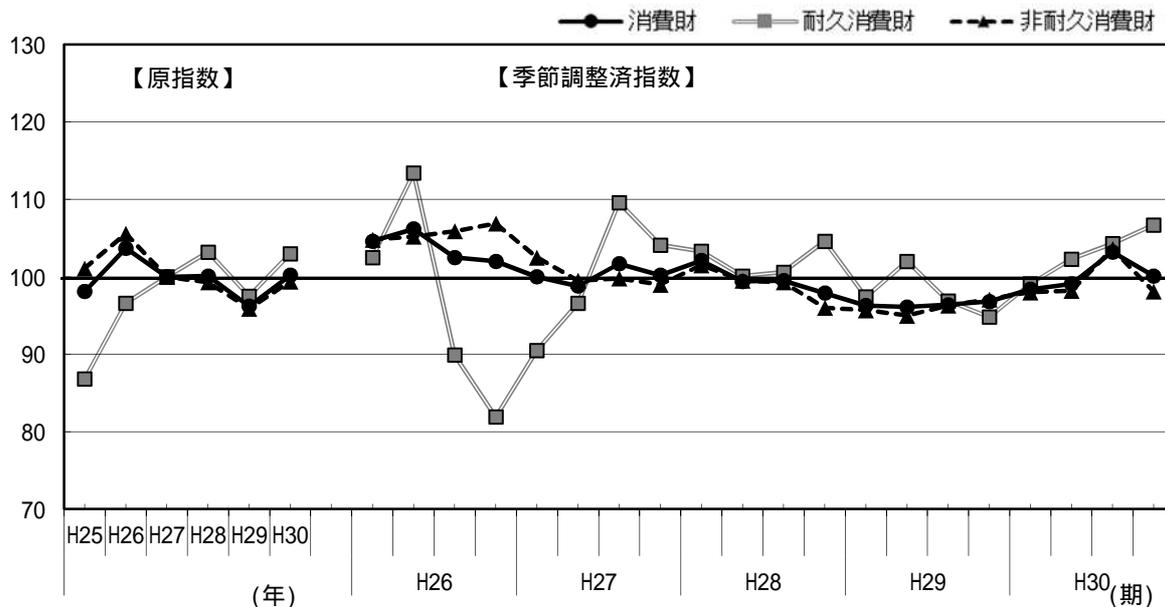


イ 消費財（ 耐久消費財・非耐久消費財 ）

耐久消費財出荷指数は 103.0 で、対前年比は 5.6%、2 年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、乗用車やカーオーディオなどが上昇しています。

非耐久消費財出荷指数は 99.4 で、対前年比は 3.6%、4 年ぶりの上昇となりました。品目別にみると、炭酸飲料や化粧品などが上昇しています。

図 3 - 2 消費財の出荷指数の推移 （平成27年平均 = 100）

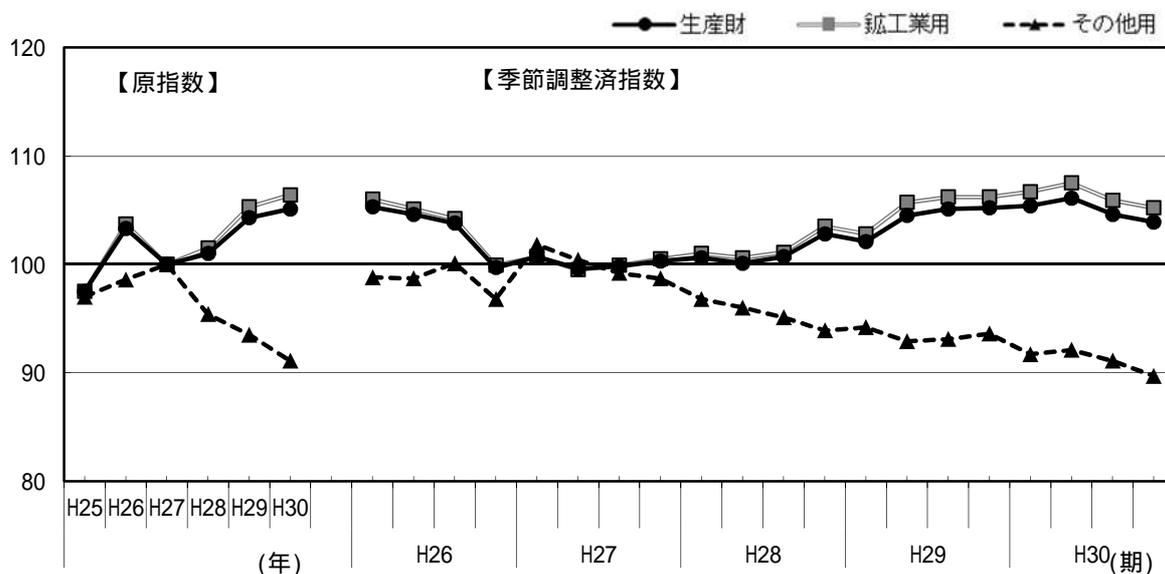


( 3 ) 生産財

鉱工業用生産財出荷指数は106.4で、対前年比は1.0%、3年連続の上昇となりました。品目別にみると、自動車エンジンやプラスチック製容器などが上昇しています。

その他用生産財出荷指数は91.1で、対前年比は 2.6%、3年連続の低下となりました。品目別にみると、シャープペンシルや平版印刷（オフセット印刷）などが低下しています。

図 3 - 3 生産財の出荷指数の推移 （平成27年平均 = 100）



## 4 全国及び関東経済産業局管内との比較

### (1) 生産指数

< 埼玉県 >

生産指数は101.3で、対前年比0.5%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、 期で上昇、 期及び 期で低下となっています。

< 全国 >

生産指数は 104.2 で、対前年比 1.1%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、 期で上昇、 期で低下、 期で上昇となっています。

< 関東経済産業局 >

生産指数は 103.1 で、対前年比 1.0%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、 期、 期及び 期で上昇となっています。

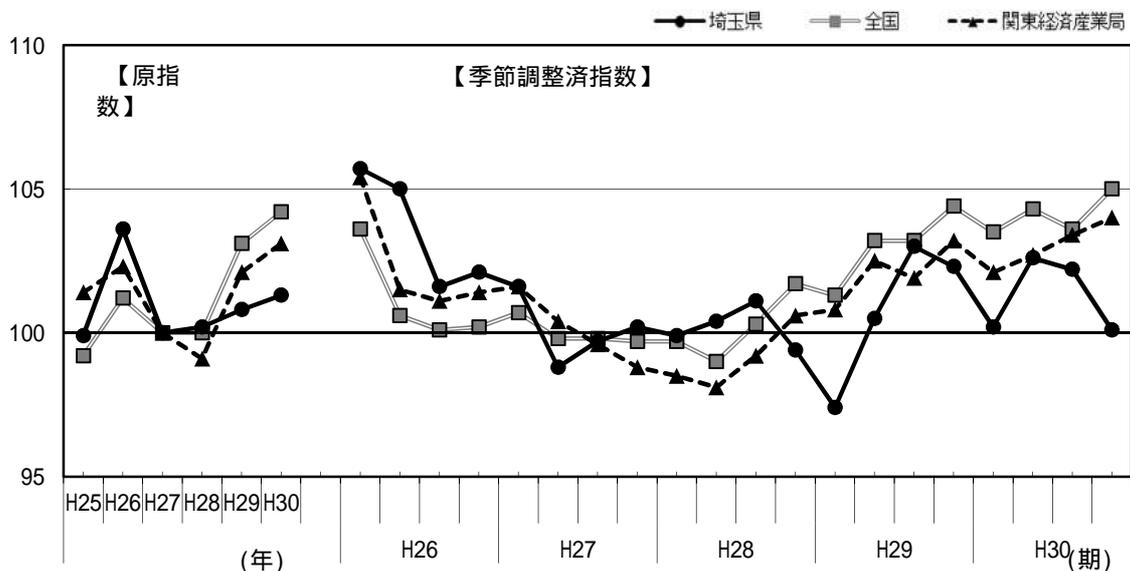
表 4 - 1 鉱工業総合指数（生産）の推移

	29年	30年	30年			
			I			
埼玉県	100.8	101.3	100.2	102.6	102.2	100.1
前年比・前期比(%)	0.6	0.5	▲ 2.1	2.4	▲ 0.4	▲ 2.1
全国	103.1	104.2	103.5	104.3	103.6	105.0
前年比・前期比(%)	3.1	1.1	▲ 0.9	0.8	▲ 0.7	1.4
関東経済産業局	102.1	103.1	102.1	102.7	103.4	104.0
前年比・前期比(%)	3.0	1.0	▲ 1.1	0.6	0.7	0.6

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。

四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図 4 - 1 鉱工業総合指数（生産）の推移（平成 27 年平均 = 100）



## (2) 出荷指数

< 埼玉県 >

出荷指数は102.2で、対前年比1.0%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、 期及び 期で上昇、 期で低下となっています。

< 全国 >

出荷指数は 103.0 で、対前年比 0.8%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、 期で上昇、 期で低下、 期で上昇となっています。

< 関東経済産業局 >

出荷指数は 100.8 で、対前年比 0.1%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で低下、及び 期で上昇、 期で横ばい、 期で上昇となっています。

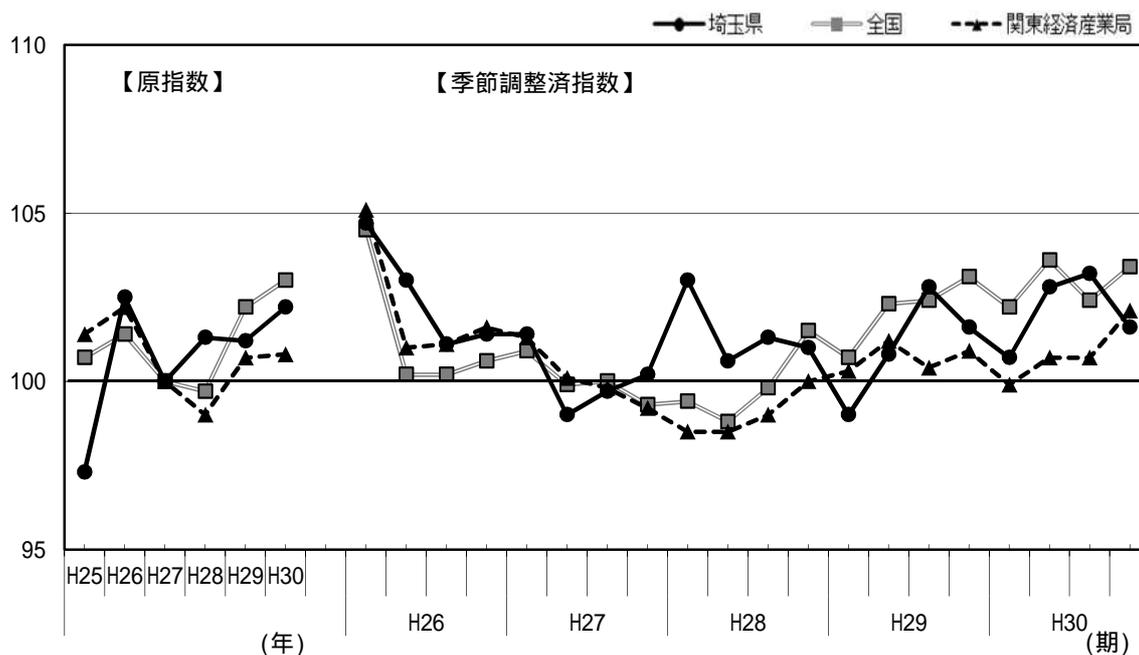
表 4 - 2 鉱工業総合指数（出荷）の推移

	29年	30年	30年			
			I			
埼玉県	101.2	102.2	100.7	102.8	103.2	101.6
前年比・前期比(%)	▲ 0.1	1.0	▲ 0.9	2.1	0.4	▲ 1.6
全国	102.2	103.0	102.2	103.6	102.4	103.4
前年比・前期比(%)	2.5	0.8	▲ 0.9	1.4	▲ 1.2	1.0
関東経済産業局	100.7	100.8	99.9	100.7	100.7	102.1
前年比・前期比(%)	1.7	0.1	▲ 1.0	0.8	0.0	1.4

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。

四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図 4 - 2 鉱工業総合指数（出荷）の推移 (平成 27 年平均 = 100)



### (3) 在庫指数

< 埼玉県 >

在庫指数は88.5で、対前年比 4.3%の低下となりました。

四半期別対前期比は、 期、 期、 期及び 期の全期で低下となっています。

< 全国 >

在庫指数は 100.5 で、対前年比 1.7%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で上昇、 期で低下、 期及び 期で上昇となっています。

< 関東経済産業局 >

在庫指数は 97.8 で、対前年比 1.7%の上昇となりました。

四半期別対前期比は、 期で上昇、 期で低下、 期で上昇、 期で低下となっています。

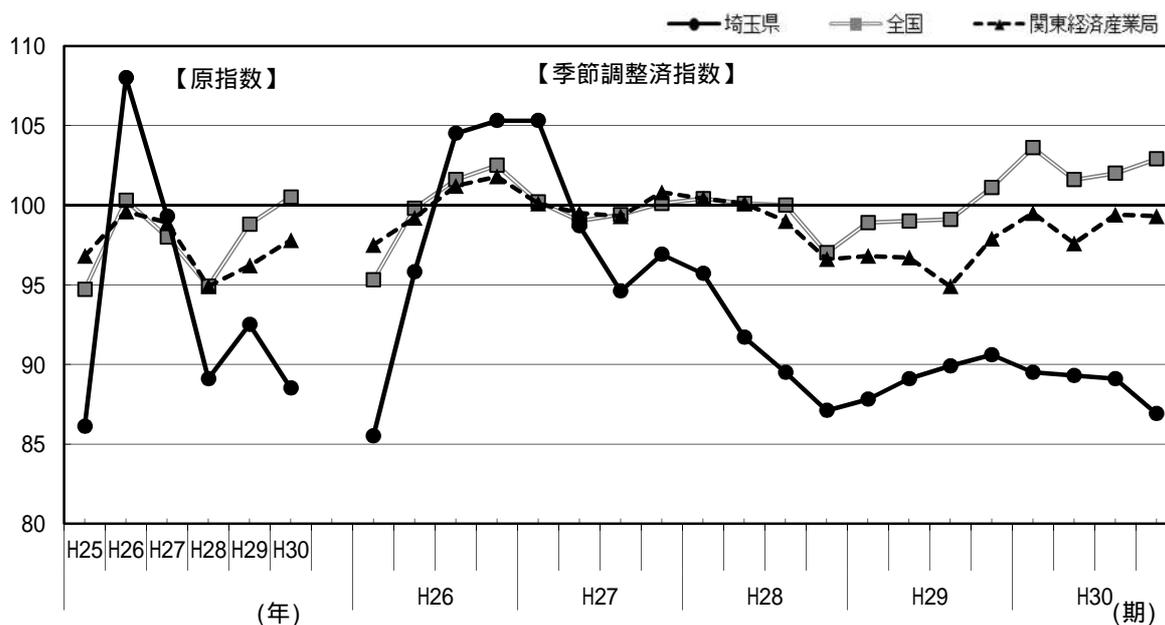
表 4 - 3 鉱工業総合指数（在庫）の推移

	29年	30年	30年			
			I			
埼玉県	92.5	88.5	89.5	89.3	89.1	86.9
前年比・前期比(%)	3.8	▲ 4.3	▲ 1.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 2.5
全国	98.8	100.5	103.6	101.6	102.0	102.9
前年比・前期比(%)	4.1	1.7	2.5	▲ 1.9	0.4	0.9
関東経済産業局	96.2	97.8	99.5	97.6	99.4	99.3
前年比・前期比(%)	1.4	1.7	1.6	▲ 1.9	1.8	▲ 0.1

年別・・・原指数による。増減率は対前年比。

四半期別・・・季節調整済指数による。増減率は対前期比。

図 4 - 3 鉱工業総合指数（在庫）の推移 (平成 27 年平均 = 100)





# 統 計 表

(平成25年～30年)



































































































# 資 料

























































